

AuraSoundSP と SDMemoryPlayer

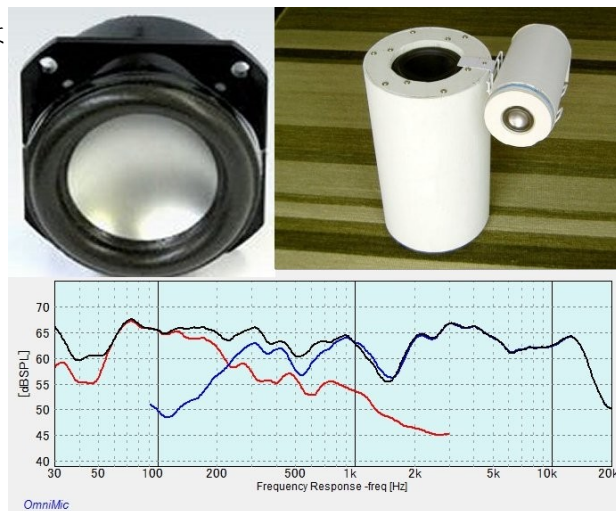
前回の DAISO 小型スピーカに続き、今回はやはり小型 SP で有名な AuraSound 社の 2 in 小型スピーカ(約 4cm 振動板)を中高域に使った 2 Way スピーカシステムを紹介します。

使用ユニットは

中高域 AuraSound NSW2-326-8A(8Ω)
低域 DaytonAudio ND-140-4(4Ω)

でドライブ条件は以下のようです。

Player SDMemoryPlayer
DAC ES9038Q2M (I2S 接続)
デバイダ CR filer (クロス 250Hz)
AMP TPA3116D2 アンプ x2



AuraSound は 1.5L ほどの 10cm 径ボイド管エンクロージャにフローティング構造でバッフルを固定しています。駆動は SDMemory からの I2S デジタル出力を HDMI ケーブルにて DAC に送り、DAC のアナログ出力を CR パッシブフィルターで帯域分割し、2 台のステレオアンプでマルチドライブしています。



今回のもう一つのテーマは新しい SDMemoryPlayer で AliExpress で見つけましたが中国製でメーカー名は不詳です。再生出力仕様は I2S 出力のみなので、HDMI トランスミットアダプタを付け HDMI コネクタ出しとなっています。ソース媒体は標準サイズの SD メモリーが必要です。

SDmemory 上の再生可能な音楽のデジタルフォーマットは

Wav: 44.1-192k 16Bit-32Bit

Flac: 44.1-192K 16Bit-24Bit

DSD: dsf dff 64-256

と多彩で DAC が対応していれば DSD もシームレスで再生します。表示は小さいながら 6 桁 23 文字のカラー液晶でファイル名を漢字ひらがなカタカナで表記できますが、基本説明書は中国語です。メモリーのデータ読取やボタン操作も独自の仕様で操作もかなり癖がありますが赤外線リモコン付きなので CD プレーや並みの操作性は便利です。

音質的にはかなり優れていて素でも結構使えますが、水晶発振器を交換すると更に素晴らしいプレーヤになり価格的には驚異的な性能ですがこの工作難易度は結構高いです。

電源は DC5~12V(0.2A)が必要で、通常の DC アダプタでも充分ですが音質に効くのでちゃんとした電源をあてがって欲しいところです。電池 (単 3x4) でも使えます。

シンプルな構成のためかデジタルプレーヤとしてとても解像度の高い音を再生してくれるので、値段 (本体 8K 円ほど) から考えると抜群の CP は侮れません。

ブログ : <https://milestone.at.webry.info/>

